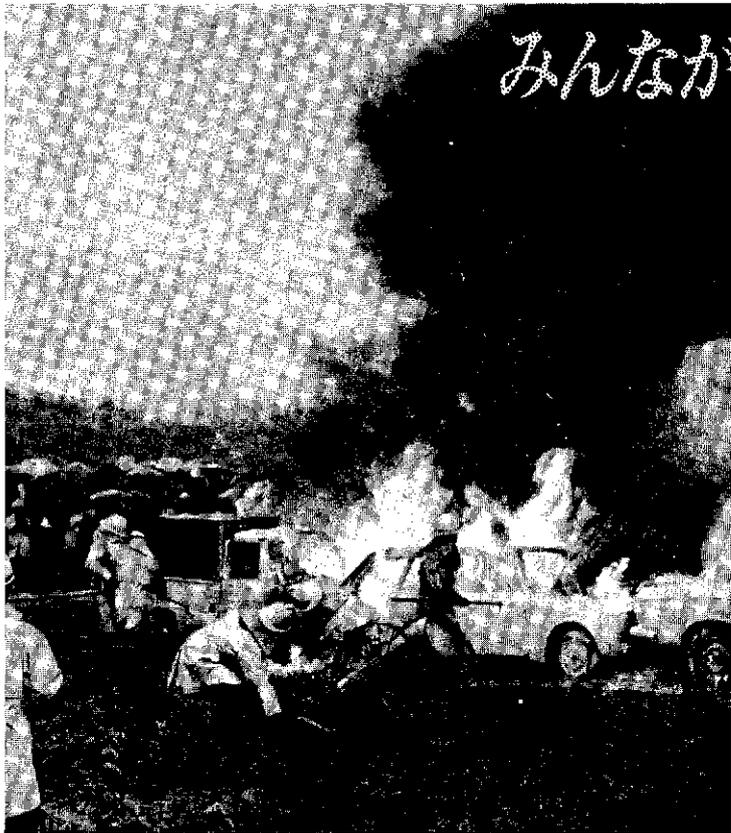


人口

男	24,010
女	26,068
世帯数	50,078
世帯数	11,079

# みんなが火災の恐しさを知ろう

県下各地で火事が相次ぎ、五県で三むね加茂で14むね全半焼——と新聞で報道されました。

ことしも寒い冬がもうすぐやってきます。これからは各家庭や事業所とも暖房器具など火気の使用が多くなり、例年この時期に多くの火災が発生しています。

今月26日から秋の全国火災予防運動がはじまりますが、尊い人命や大切な財産を火災から守るためにみんながもう一度火災の恐しさについて自覚していただきたいものです。

## もうすでに

### 六百八十三万円が灰

当市の火災犠 災世無数二十二、被災者数百六 不始末等となっています。 生状況は、昭和 人を救え、また建物、山林、そ 四十七年十一月の他の損失で六百八十二万七千 一日現在で、す 円の損害額となっています。 月に四十一件の 原因別にみますと、別表のよ 火災が発生し、死 うに石油風呂がま等の石油器具 者一人、負傷者 関係が九件とトッパをしめ、つ 八人を出し、被 いで焼却時の不注意、たばこの 物によるものが三十三万、たばこ

市消防署は去る十一月七日、小雨降るなかを化学燃料による 災害事故に備えての消火実験を行いました。……この実験は タンクローリー車が横転炎上、建物内のプロパンに引火燃焼し たことを想定、市管アール付近のあき地に原油、ガソリン三千 二百リットルの油槽を置き近くの建物にプロパンボンベ四本を セットしたもので 点火されると、たちまち火の海となりプロパンボンベに引火 爆発し車輪が高くたちのぼりました。 ……化学消防車とタンク車から高い消火機がはじき出されると感 えて感った炎はワソのように消え、十二の威力を發揮しました。

として保存しておいてください  
市報とよかまちは家庭と市役所を結ぶ橋です

## 市民の生命と財産を守る

### 灯油の貯蔵について

降雪期になると灯油の貯蔵を多量に行 蔵する家庭が増えられますが貯蔵施設 のない場合は、灯油の貯蔵は禁止されて います。 (1) 貯蔵容器は、10リットル以上の場合は二重 の容器が必要で、5リットル以下の場合は一重 の容器でも構いません。 (2) 貯蔵容器は、必ず火気から離れた場所に 保管してください。 (3) 貯蔵容器は、必ず火気から離れた場所に 保管してください。 (4) 貯蔵容器は、必ず火気から離れた場所に 保管してください。



十四日、たき火が十一家をしめ ています。 火災発生時期は、降雪前の十 一月と春先の五月が最も多く 三十九万をしめています。 時間別にみますと、午後四時 から午後五時が最も多く、ついで 午前十一時から正午となっ ています。そこで、当市の火災発 生は、十一月と五月の多い日の 午後四時頃石油器具類によつて 出火ということがいえます。 したがって、この時期に注意 すれば火災の同割に防げること になります。

## 救急活動も大きな任務

市消防署は、交通事故やその 他災害に備え、大型救急車一 台、小型救急車二台を配備 しています。すでに十月末現在 で四百三十三回出動しましたが、

このうち急病の場合が百六十六 回でトッパをしめています。こ れは毎日一回以上救急車が出動 したことになります。このよう に年々救急自動車の使用が多くな っています。なかには急いで 現場に到着したら症状が回復 していたとか、救急車が到着しな ければならないほどの急病人でも なく、医師が首をかしげる ような利用が多くなりました。 こんな利用が多いため、一刻を 放ちず急病人が間にあわなかつ たなどということがないといひ きれません。

軽傷(軽)の人は自家用車や タクシーを利用し、なるべく救 急車の利用をさげるとご協力 をお願いします。

## 火災の予防

火災の予防は、火の発生を防止し、火災発生時の被害を軽減することです。火災の予防には、火気の使用に注意し、火災の原因を排除することが重要です。

## 119番 通報のしかた

- ① 着火している場所を正確にダイヤルし、火に神速に到着するよう伝える。火災発生場所を正確に伝える。火災発生場所を正確に伝える。
- ② 消防隊到着まで出る限り初期消火に努める。消防隊到着まで出る限り初期消火に努める。
- ③ 商店、お宅から出る場合は、火災発生場所を正確に伝える。商店、お宅から出る場合は、火災発生場所を正確に伝える。

## つかいたい コトバ

コトバは光る。コトバは、はねる。コトバはまもる。コトバは、人をつきあわすのに、コトバが非常にたいせつな役目をする。人を真剣にさせるのも、多かれ少なかれコトバの働きによります。ではどんなコトバを使ったか。

- (1) 相手を人間として対等に扱うコトバ。
- (2) 相手への深い関心を示すコトバ。
- (3) 相手の立場への思いやりのコトバ。
- (4) 相手の言い出しにくい気持ちを察してあげるコトバ。
- (5) 相手の欠点や負いめを思いやるコトバ。

